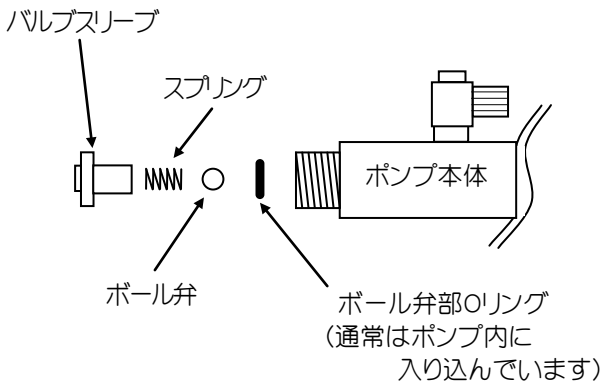


ポンプ内ボール弁 分解図 (図6)

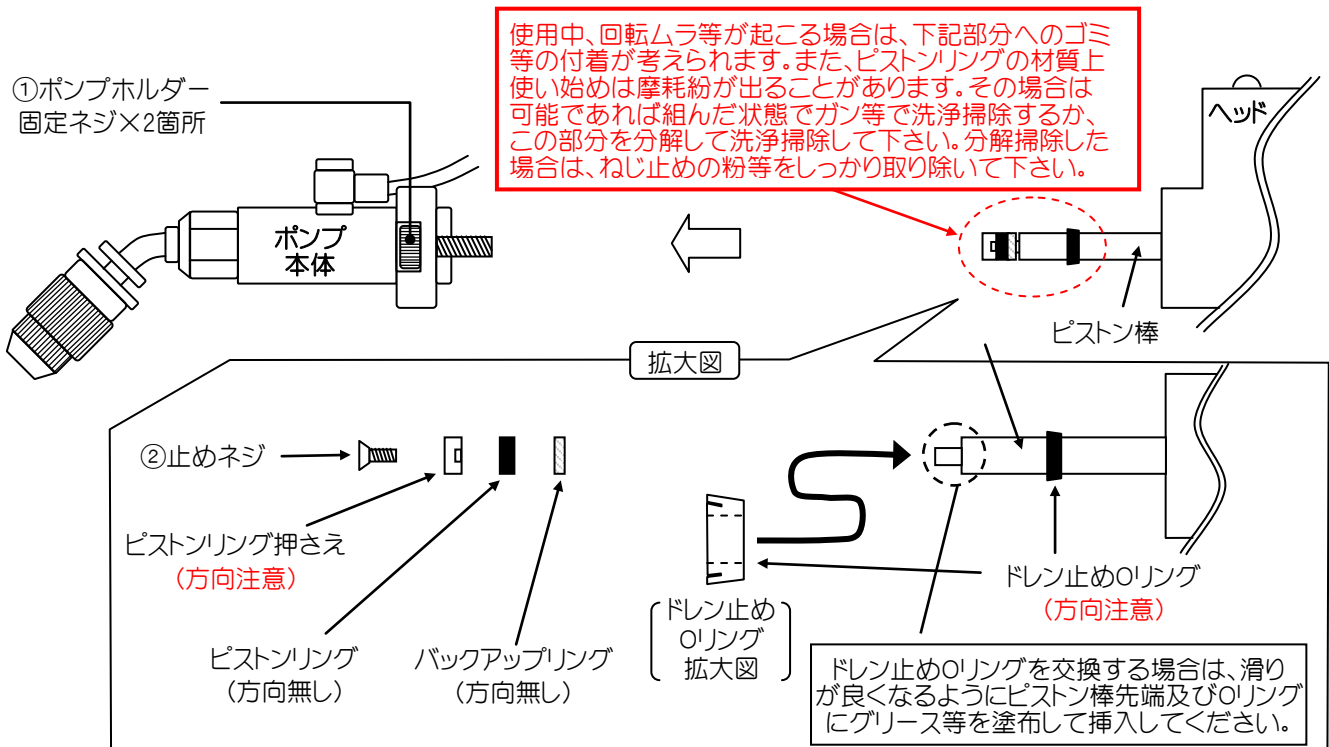


液が上がらない又は液が下がってしまう場合は、ボール弁部のごみ付着等が考えられますので、左図を参考にして、ごみを取り除いて下さい。

- ① ノズルナットをゆるめてノズルユニットをポンプ本体より外して下さい。(図4参照)
- ② ポンプ先端よりバルブスリーブを外して下さい。
- ③ ポンプ中にスプリング & ボール弁が残っているようでしたら、それらを取り出して、ボール弁に付着している異物等をきれいに取除いて下さい。
- ④ 念の為、ポンプの中も綿棒で掃除して下さい。
- ⑤ ボール弁部Oリングは基本的にはポンプ内に入り込んでいるものですが、状況によっては細い棒状のようなもので取り出して、内部も掃除して下さい
- ⑥ ①～③の逆の順で組んで下さい。

ピストンリング & ドレン止めOリング 交換図 (図7)

【ピストンリング及びドレン止めOリングは消耗品とお考え下さい】



【ピストンリング交換方法】

噴霧圧力が落ちた等、ガンに不調が出た場合、ピストンリングの消耗が考えられますので交換してください。

- ① ポンプホルダー固定ネジ2箇所を緩めて、ヘッドよりポンプ本体を引き抜いてください。
- ② ②の止めネジを緩めて、ピストンリング押さえ・ピストンリング・バックアップリングを外して下さい。
- ③ 念のため、細部を清掃して下さい。
- ④ 新品のピストンリングと交換して下さい。(バックアップリングは基本的にはそのまま使用できますが、破損等あるようでしたら交換をお勧めします。)
- ⑤ ②で外した部品を順序を間違えないように取り付けて下さい。
- ⑥ ヘッドへ挿入する前に、滑りを良くするためにピストン棒各部へオイル又はグリースを塗布して下さい。
- ⑦ ポンプ本体をヘッドに取り付けてポンプホルダー固定ネジをしっかり締め付けて下さい。

【ドレン止めOリング交換方法】

経年使用によりOリングが消耗してヘッドとグリップの隙間から液が漏れてきた場合は上図を参考にして、ドレン止めOリングを交換してください。

- ① ポンプホルダー固定ネジ2箇所を緩めて、ヘッドよりポンプ本体を引き抜いてください。
- ② ②の止めネジを緩めて、ピストンリング押さえ・ピストンリング・バックアップリングを外して下さい。
- ③ 先端の細い物で、消耗したドレン止めOリングを取り外して下さい。
- ④ Oリング及びピストン棒に滑りが良くなるようにグリース等を塗布し、拡大図を参照に新しいドレン止めOリングが変形しない様に注意しながら、ピストン棒に挿入してください。又方向にも注意してください。少し広がっている面がポンプ本体側になります。(拡大図参照)
- ⑤ ②で外した部品を順序を間違えないように取り付けて下さい。
- ⑥ ポンプ本体をヘッドに取り付けてポンプホルダー固定ネジをしっかり締め付けて下さい。